

2006

おまえざき

市議会だより



第2回市民体育大会



ふれあい広場



第1回御前崎市大産業まつり



地域防災訓練

第7号

(2005,10・11・12月)

平成18年1月発行
御前崎市議会

- 議会年頭あいさつ…………… 2
- 12月定例議会…………… 3
- 予算質疑…………… 4
- 一般質問…………… 6
- 委員会報告…………… 13
- 特別委員会報告…………… 16
- 議員視察…………… 17
- 編集後記…………… 18

謹賀新年



議長 柳澤重夫

新年あけまして
おめでとうございます

穏やかに明けた平成18年の新春、皆様には御健勝のうち
新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

皆様には日頃より議会活動に対し格別なる御理解と御協力を
頂いておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年来病院に関して市民の皆様には大変御心配と御迷惑を
おかけしておりますが、皆様の御心が通じ4月からは浜松医大
より5名の内科医を始め6名の常勤内科医による診療体制と
なりました。今後も皆様に安心していただける病院医療環境の
確立に全力で取り組んでまいります。

引き続き皆様の御理解と御鞭撻を賜りますようお願い申し
上げます。

明けたこの平成18年が穏やかなより良い年でありますよう、
併せて皆様の平安を心より祈念し年頭の御挨拶と致します。



長嶋雄一



片淵一孝



曾根紀久雄



阿南澄男



揚張正



曾根宏



松林秀一



杉浦謙二



後藤憲志



水野克尚



清水澄夫



岡村勝



岩瀬初代



若杉泰彦



西島昌和



増田雅伸



大澤満

12月定例議会

御前崎市総合計画及び補正予算等が審議される

12月定例議会が12月2日より21日間の会期で開催されました。病院事業会計の赤字を補填するため、一般会計からの補助金を含む補正予算は、慎重に審議された結果、原案のとおり可決となりました。予算に対する質疑に4名、一般質問は14名が登壇して市長の見解を質しました。

◎ 請 願

「御前崎市立総合病院調査特別委員会(地方自治法100条)の設置の議決を求める請願」

12月13日の本会議に上程し、質疑、討論を経て直ちに採決した結果、賛成少数で不採択となりました。

◎ 議 案

「御前崎市総合計画基本構想を定めること」

御前崎市の今後10年のまちづくりの基本構想を定めるもので、原案のとおり可決となりました。

「御前崎市公の施設にかかる指定管理者の指定手続等に関する条例」

市内の公の施設管理に、民間が参入できるための手続を定める条例で、原案のとおり可決となりました。

「御前崎町有線放送電話補償条例を廃止」

旧御前崎町の有線放送電話に係る補償条例を廃止しました。

「各会計の補正予算」

下記の総括表のとおり、原案可決となりました。

平成17年度一般会計・特別会計・事業会計補正予算総括表 (単位:千円)

区 分	補正前予算額	補 正 額	合 計
一 般 会 計	16,621,000	769,000	17,390,000
国民健康保険特別会計	2,841,520	178,934	3,020,454
老人保健特別会計	2,888,249	96,598	2,984,847
介護保険特別会計	1,766,596	8,000	1,774,596
農業集落排水特別会計	1,092,000	17,000	1,109,000
水道事業会計	1,729,318	50,400	1,779,718
病院事業会計	4,927,330	▲ 251,530	4,675,800

注：水道及び病院事業会計は収益的収入及び資本的収入の合計額

予算質疑



4名が 平成17年度補正予算を問う

御前崎市総合計画について

水野克尚 議員

問 土地利用構想の中で未来を拓く産業を育成する土地利用の形成では企業誘致による雇用の場の確保が述べられています。その概念図で先端技術ゾーンへ工場誘致を進める地域と位置づけられています。利用可能な用地はあるのか、農村工業導入地区や北部地域へどの様に計画するのか

答 農村工業導入地区や新たな工業団地を求めるのか適地調査を行っています。来年度の国土利用計画の中で決めていきます。

問 地域に応じた土地利用形成の推進について中心市街地は都市計画道路を整備し都市化を図る、周辺部へは無秩序な開発を抑制する。また、北部地域へ定住を図るため小規模な住宅を配置するとしています。都市計画区域の方向性と北部地域への開発と農業振興をどの様に考えるのか

答 用途地域周辺部の既存居住

及営農環境等に悪影響を招かないような土地利用の誘導に努め、今後、策定を予定している御前崎市都市計画マスタープランにおいて用途地域の見直しを含め各地域ごとに将来像を検討し方向付けをしていきます。その他の地域は、農業振興地域との調和を保ちながら適正な土地利用を進めていきます。北部地域の方向性は生産性の高い一団の農用地は担い手を中心に効率的な農業振興を図る、生産性の低い農地は小規模住宅用地や工業用地等への土地利用を検討します。

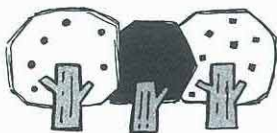
清水澄夫 議員

問 指定管理者制度導入に当たって心配する1つは、指定管理者である民間会社が赤字を出す、当該施設を投げ出したり、倒産したりした場合、負債は誰が背負うのか、住民に転嫁されることではないか、2つは、指定管理者への責めに帰すべき事由以外に取り消しができないことではないか、3つは、市長や議員など

の親族が経営する団体は認めない兼業禁止規定を条例に明記すべきではないか、4つは、選定はこれまで団体の活動実績、専門性を考慮すること、公募者の選定には学識経験者などを入れ選定委員会をつくるべきではないか

答 指定管理者が公の施設を管理できなかった場合、指定の取り消しが出来る、市がこうむった損害も指定管理者が賠償するという規定を盛り込んでいます。兼業禁止は、地方公共団体の議員や長は、地方自治法の中で兼業禁止の規定が設けられています。最終的には、議会の議決で指定管理者を指定するという形になります。

御前崎市総合計画についても質問しました。



問 補正後の保健衛生費中、病院への繰出金が22億6千万円だが財源の詳細を

答 財源内訳は電源立地促進対策交付金2億7千万円、長期発展交付金2億円の計4億7千万円の国庫補助金で、残りの17億9千万円が一般財源です。

問 県と密接な連絡を取り、医師確保に努めていると聞いているが県の支援状況は

答 医療担当の県理事(部長級)が中心となって浜松医大に医師派遣を働きかけています。

問 給与費・経費の減額が少なく、経営努力に疑問を抱いているが何名医師確保の見通しがあるのか

答 給与費は、病院職員の正規・非常勤、延べ350名の人員費であり、減額は控えめにしました。材料費、経費についても確実に見込める範囲です。

問 他の病院・医師会と連携と言っているが負担金や協力費を求められるのではないかと

答 今後、他の病院に一方的にお願いする事になりますと、ご指摘のように負担金等の要請も懸念されます。何としても医師を確保してそのような事態を招く事のないよう努力してまいります。



岡村 勝 議員

問 補正額6億9千800万円について、上半期の未処理欠損金との差額2億2千448万円の説明を

答 下半期の収支計算をすると内科患者の減少するなかで、経費の減額に努力しても、どうしても6億9千800万円の不足になりますので、一般会計からの繰り入れをお願いするものです。

問 給与費の占める割合が高くなっているが是正の見通しは

答 支出の大半は人件費でありこの割合を下げるのが病院会計の健全性につながることは十分に承知しているが、患者が減少したからといって直ちに職員数を減らすことは病院の立て直しに支障を生ずることになるのでご理解をいただきたいと思っています。

問 機器の購入について説明を

答 本年度購入した主要な機器は電源立地地域対策交付金備品で、入院患者用電動ベッド163台、非常用自家発電装置、高速らせんCTです。この高速らせんCTにつきましては、9年を経過し、機器の故障やコンピュータのエラーも多く、どの診療科においても使用する機器であり、病院機能を維持する上で最も必要でありまして、今回更新をお願いしたものです。

一般質問



- 病院運営と地域医療の安定に向けて

14名が登壇・市政を問う

御前崎市立

総合病院について

問 御前崎市立総合病院は、新聞紙上で内科医全員撤退、整形外科も閉鎖の記事で、市民の不安は高まっています。

12月の補正で6億9千800万円、当初を含め10億7千万円の補填となり、市の財政を圧迫しています。病院の現状と今後の医師確保と経営についての説明を

答 多くの病院で医師不足が深刻な問題となっています。現在市民の安心できる病院に立て直すため懸命の努力をしていますが、1月以降常勤内科医1名、非常勤3名で対応できるようにになったが、4月頃までには市民の安心出来る内科医確保に向け浜松医大にお願いしています。

曾根 紀久雄 議員

食育と市の

取り組みについて

問 現在は核家族化や生活リズムの違い、考え方の違いから家族みんなで食事をし、語り合い食べる、食への感謝の気持ちが消えてしまいました。子供の成長を考えて食事を作ることが少なくなったのもひとつの要因かと思えます。食育は幅広い問題ですが、市の考えは

答 市では食育推進計画を作成し保育者や子供の食に関する関心と理解を深め、各家庭における健全な食習慣の確立と子供の健全な食生活など地域ぐるみで改善推進していきたいと考えています。



総合病院来年度予算編成

問 インターネットで1月から1名医師確保が出来たと聞いたが4月以降常勤医師が10名前後では医業費用の大幅な減額をしないと一般会計からの赤字補填が本年度の約11億円を大幅に上回る恐れがあり、来年度予算編成で費用の減額をするのか、現状維持のまま一般会計からの補助でいくのか

答 現在の病院状況を考えると、18年度も医業収益の大幅な減少が想定され、病院を存続する以上、経費の節減にも限界があり、来年度も一般会計から支援をいただきたい。基本的に最悪でも今年度並みに抑えたいが、それには、1日も早く医師確保が必要であり、医師確保に全力を尽くします。当初予算案を議会に提出するまでに、病院経営のシ

ミュレーションを示します。

問 来年度も4月から10名以上の医師が確保出来なければ、本年度以上の巨額な赤字が予想され、この赤字を一般会計から赤字補填すれば当然他の事業等に影響が出ると思いますが、これからの赤字補填の財源は

答 病院運営のために多額な赤字補填が必要となっており、来年度についても先ほど申したように今年度並みに支援を必要と考えています。その財源には、今年度榛原病院へ一般会計の病院費から7億円余の支出をしましたが、来年度はこれが4千万円余となります。これを病院会計へ支援財源としてもう1年使い、一般会計への影響を最小限にとどめたいと思います。

プルサーマル問題について

問 市長の考えは

答 ウラン資源に恵まれないわが国が、ウラン資源の有効利用を図る上で意味のあるものと認識しています。安全性の確保と市民の理解が重要であると考えています。

問 安全協定を見直す考えは

答 事前了解という条項がなくとも重要な事項については事前協議をいただく事で運用してきている事から、直ちに見直しを必要とする事項であるとは考えておりません。今回のプルサーマルの件につきましても、許可申請前には市の全員協議会に諮り、ご意見をいただきたいと考えています。

問 市立病院の医師不足の問題がある中、意思表明の時期は

答 病院の設立の経緯を考えますと、プルサーマル問題と全く無関係であるとは思っておりません。医師不足の解決には全力をあげて努力しております。その認識の上で国の厳正な安全審査の結果が段階で皆さんの意見を聞き判断をしていきたいと思えます。

松くい虫対策について

問 今年度は特に松くい虫被害の松が多いが今後の対策は

答 海岸防災林の関係者で構成する「松くい虫等被害対策検討委員会」を組織し、この問題についてご協議をしていただき、海岸に近い松林を保護すべき最重要松林と位置付け、この区域を最優先に駆除をし、来年度以降は植生転換や、松くい虫に強い松の植林の検討を図っていきます。

救急医療体制について

問 医師不足により御前崎総合病院は、救急医療協力申出機関として引き続き機能するかどうか、又近隣病院との連携や役割が果たせるのかどうか

答 来年1月以降は、内科系疾患の患者の時間外・救急医療ができない以上、救急の指定は当面返上するしかないと考えております。日勤帯は内科外来、救急は通常どおり行っており、他の診療科目については二次救急の患者を従来どおり診療しているよう考えております。

掛川、菊川、榛原の近隣病院にも、医師不足により一病院ですべての診療科目をカバーすることはできず、お互いが受け持つという病院間の連携が機能しており、当院でも病院連携による機能分担をさらに進めていく必要があると考えております。

問 患者を一刻も早く近くの病院に搬送することが救命上重要であります。救急医療への対策は

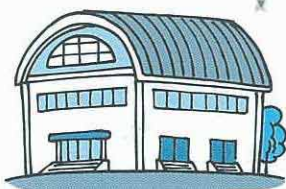
答 救急車で搬送されてくる二次医療の患者さんについては、内科を除いた当院で対応可能な診療科（脳神経外科、外科、消化器科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、小児科、皮膚科）の患者さんは積極的に受け入れ、内科疾患の患者さんについては、救急搬送を受け持つ消防署に対し、専門内科医のいる近くの病院へ搬送をお願いし、近隣病院の各病院長には患者を診察し、必要な場合には入院させていただくよう依頼してあります。現在の医療状況においては、一刻も早く専門医のいる病院に患者を搬送する方が、より現実的であり、適切であると考えます。

アスベスト問題について

問 アスベストによって起きる肺がんや中皮腫といった健康被害が社会問題化しています。このようなアスベストが市内の公共施設に使用されているのか、調査結果を公表願います。また、どのように対処したのか、今後どのように対処していくのか、対策について公表は

答 7月にまず各施設管理担当課におきまして、目視により吹きつけアスベストが使用されている可能性があるか調査いたしました。その結果、今回分析調査を必要とする施設が15カ所あり、分析調査専門業者2社に調査を発注いたしました。その結果、浜岡東小学校体育館のステージ横の天井から含有率1・2%のア

スベストが検出されました。この件につきましては、現在のところ飛散性は有りませんので冬休みに再度全体の分析調査をし、今後の対応を考慮しております。なお、第一小学校の浄化槽ポンプ室は、既に平成15年度の調査でアスベスト成分の含有が判明したため、ポンプ室をその後閉鎖しておりますが、12月補正で解体費用の予算をお願いし、冬休みに解体する予定です。このほか分析調査した施設につきましては、アスベストは検出されておりました。



ユニバーサルデザインについて

問 障害者や高齢者が安心できる公共施設の見直し、点検と、市役所西側出入口のスロープ設置の考えは

答 市役所西側出入口は利用者の利便性や、構造物の支障とならないよう設計を進めています。1月頃、工事発注できる見込みです。他の施設も点検や見直しを行い、できる所から改修、改善に努めていきたいと思っています。

キャップ
CAPPプログラムについて

(C)子供 (A)突然襲う (P)防止の意

問 子供への暴力防止や、人権教育を目的とするCAPPプログラムを導入する考えは。全国で下校時の事件が相次いでいるが、通学路の点検は

答 児童虐待や親の育児困難等の問題については、各関係機関と連携し、子供を守る支援を行っているが、子供が自身を守っている指導致もしています。今後その指導の一つとして、CAPPプログラムを利用していくことも効果的だと考えています。本年度東小3年生の家庭教育学級で講師を招き勉強会を行っているが、教育委員会として、今後前向きに検討してまいります。

市内の保育園、幼稚園、小学校で、登下校時や学校外での子供達への指導を行い、安全意識の高揚を図っています。下校時の告知放送を行い、サポート隊や地域の協力を得て子供の安全を守る対策を行っています。



検討会の経過説明について

問 福祉タクシー利用料金割引乗車券と、福祉循環バスの運行について検討委員会の説明を

答 民間の各種団体や地域の代表者13名の方々に委員をお願いし年間4回の予定で方向づけをお願いしています。6月28日、9月8日に現状把握と事前知識の研修をし、11月24日に意見交換を行いました。福祉タクシー補助券は今後も必要性を認めるが、利用しやすい制度への見直しと、真に必要な対象者に限定すべきというご意見をいただいています。1月下旬予定の委員会でまとめたいと思います。

問 各地区の活動の拠点となっている公民館の活動の充実と防災拠点の機能を高める為に、市の職員の派遣を検討す

る公民館のあり方検討会の経過説明を

答 本年5月に庁内に検討委員会を立ち上げ、新市の公民館としてどのような姿が望ましいか検討をすすめております。幹事会を含め8回の検討会、現地視察を行い、10月に中間報告を受けました。課題として各公民館への職員配置をして、地区の実情を踏まえた事業の実施をする旨の提案がされております。18年度を準備期間とし、19年度から順次実施することとしております。

問 住宅の倒壊災害から命を守る防災ベッドが開発されました。購入助成は

答 寝たきりの要援護者にとつては大変有効であると思われるので検討してまいりたいと思います。

市立病院について

問 医師数減少による医療、保健、介護、福祉面への影響、その対応策と改善をめざした病院機能評価システムを取り入れる考えは

答 市内開業医の先生や周辺の病院への依頼を検討して、支障のないように対処します。老人保健施設や療養型医療施設について、医療依存度が高く専門的治療を必要とする方には他の施設を紹介します。病院機能評価システムの導入については、病院の立て直しの目的が立った段階で検討します。

問 地震等の大規模災害時における救急医療体制は

答 通常の救急医療体制と同様に、内科以外は当院で対応し、状況により第二次救急医療施設（浜松医大等の大きな

病院）へ移送となります。内科については事前に連絡をいただき当院で応急処置を施した上で転院をお願いしたいと思っております。

行政評価向上について

問 国の三位一体改革をうけて、地方分権が叫ばれていますが、より一層の住民サービスが求められ市職員の専門知識の取得、サービス向上、無駄の排除をするための方策は

答 民間経営を参考にした研修にも積極的に参加し、職員の意識改革に努めます。職員の提案制度、体制作りも検討していきます。来年からは給与構造も50年ぶりの大改革となり、民間と同様年功序列から、職員の能力に合わせた給与体系になります。よりよいサービスを提供するために人材育成に努めます。

病院改革

(疑惑) について

問 1、医師要請は基本的には浜医大一辺倒だが、浜医大は人事も決まっただけで出さないとやっている。他の大学にも要請すべきだ。2、17年3月11日のホテル聴涛館での会食は、4人で10万6千円だが常識では考えられない。酒代も入っており返還は考えているか。3、機器購入で16年末、定位脳手術装置を購入したが、購入前約1年半、(株)八神製作所から契約書もなく借用し、10名の患者の手術を施行し収入を得ている。公正取引委員会に抵触しないか。4、定位脳手術装置購入後、台湾で行われた神経外科学会に横山先生が出席されているが、旅費を会社が提供している。賄賂ではないか

答 浜医大にも要請しているが県の指導もいただいています。浜

医大はともかく私どもも一生懸命やるので浮気をしないで頑張つて欲しいと言っているもので、浜医大の指示に従っています。会食の件については、今までもメロン、お茶などを持ってお願いに行っています。医大の先生との話し合いの中の会食であり、若干高いとの感じはありますが、医者をお願いするという形の中で行ったこと、問題はないと認識しています。

問 プルサーマル実施計画で重大な懸念を持っている。佐倉地区多目的ホールは、突如1億円の増額をされたが、プルサーマル問題で配慮されたと言われている。プルサーマルを認める代わりの増額は許されないのでは

答 佐倉多目的ホール建設は、佐倉公民館が老朽化、耐震対策で、一体的管理の方が経費の節減となるため、事業の見直しを図り、電源三法で1億円増額しました。

各種検討会の経過報告について

問 合併後、いろいろな検討会を立ち上げてきました。まず「公共施設あり方検討会」について、昨年4回の検討会が実施され、継続的に検討する必要のある施設もあつたと思います。その後の経過報告と今後の予定は。また、「御前崎市行政改革推進委員会」の経過報告を

答 公共施設あり方検討会につきましては、旧御前崎町の役場庁舎の空きスペースを有効利用すること、他の公共施設が活用されているのか、調査検討するために昨年7月に検討会を立ち上げました。早急の問題として支所の有効活用を検討し、教育会館としての利用を決定し、他の公共施設につきましては、各施設を管理する課から現状調査

耐震補強

助成金について

問 木造住宅耐震補強助成金事業の実施率が低いとのこと、補強工事費が家計を圧迫する大きな出費であることも要因と思います。予想される東海地震に備え、少しでも多くの生命、家屋を守るために、耐震補強工事は重要な対策と考えます。この事業の効果的実施を図る上で、県補助金に上乗せ補助を導入する考えは

答 この耐震補強助成事業につきましては、実施率が低く県平均を下回っております。平成17年度から高齢者等に対する割り増し補助を実施し、一般世帯は30万円・高齢者や障害者の世帯は50万円の補助金を交付しております。各地で大災害が発生し、国も耐震補強施策を積極的に推

進する方針で、県から各市町に対して上乗せ補強等の協力要請がありました。また、浜岡・御前崎の両商工会からも、市民生活の安全確保のため、市独自の補助制度の導入について要望をいただきました。

今まで諸事情により、上乗せ補助金は見合わせてきましたが、一人でも多くの尊い人命と家屋倒壊の減少を図るため、次年度から県の制度と連携した上乗せ補助を実施してまいります。

上乗せする金額については、新年度の予算編成の中で検討します。



商工観光行政について

問 少子高齢化社会が始まり
 税収の安定化が叫ばれてい
 ます。これからいかに税収
 を確保するのが求められ
 中、商工業の発展が注目
 されています。市内企業の
 活性化と商工業に対する振
 興策は

答 市内企業の活性化につ
 いては本年度から企業誘致、市
 内企業育成の優遇策として用
 地取得経費や新規従業員雇用
 経費の一部を補助する制度を
 創設しました。商工業の振興
 については商工会の果たす役
 割が極めて大きいものと考え
 ています。意見・提案をいた
 だき市の商工業の振興を図り
 ます。

問 観光については広域ネッ
 トワークを生かした交流人
 口の増大による地域活性化

を図ることとして滞在型、
 体験交流型の観光振興を図
 ることを目指しています。
 しかし、どうすれば良いの
 かというところ総合計画で対応
 するにとどまり明確ではあ
 りません。市と観光協会で
 は夏・秋のイベントを立ち
 上げ観光客の誘致に努めま
 したが、改善点も多くあり
 ます。観光政策の今後の見
 通しとイベントのあり方は

答 海・山の自然、歴史・文
 化、食、安らぎ・癒しを盛り
 込み多様で変化に富んだ新し
 い観光を提案出来ないか検討
 しています。イベントにつ
 いては大成功と考えています
 が会場設定や運営方法など課題
 も多くあります。来
 年度のイベント
 開催に向けて
 改善を図っ
 ていきます。



平成21年に国民文化祭が
 静岡県で開催内定について

問 文化庁では、第24回国
 民文化祭を本県で開催する
 ことが内定しました。開催
 県の各地で音楽や伝統芸
 能、文化芸術等分野別の多
 くのイベントなど繰り広げ
 られます。観光資源は歴史
 文化の活用も大きな比重を
 占めております。地域文化
 の再発見など大きな効果を
 生むイベントと考えられま
 すが、参加する考えは

答 昭和61年から国民文化祭
 は開催されております。静岡
 県は「静岡ならではの」の大会
 実現に向けて、各市町との調
 整を始めております。当市と
 しては、地域の芸術・文化・
 産業の振興を踏まえて、関係
 の皆様にご意見を伺いながら
 県との協議を進め、的確な対
 応を図ってまいります。

文部科学省
 スポーツ振興計画について

問 平成13年施行から10年
 後には、全国市町村に1つ
 の総合型地域スポーツクラ
 ブを育成し、成人の週一回
 以上のスポーツ実施率50%
 となることを目指すとされ
 ています。国庫補助事業で
 ありますが、スポーツ拠点
 づくり推進事業として、当
 市の考え方は

答 御前崎市としては、合併
 2年目から地域の特性を活か
 した「総合型地域スポーツク
 ラブ」育成に向け、海洋型ク
 ラブ創設の準備を進めており
 ます。
 今後は、国への申請手続な
 どが必要とされており



防犯への取組みについて

問 学校、幼稚園、保育園の施設、施設内での不審者に対する防犯と安全の為の対策は十分に安心できる状態にありますか

答 施設整備面では、門扉の整備、子供たちの人権に配慮した中でのビデオカメラの設置、センサー付きの防犯灯、すぐに取り出し可能な場所に置かれた「さすまた」などがあります。防犯訓練の実施や、教職員自ら非常時に対応できるように、警察官を講師に招いて防犯教室を実施したり、子供たちにも具体的な事例を話したりして防犯意識の高揚に努めています。なお、新年度からは新規事業として警察官OBを雇用し、市内防犯パトロールの実施を考えております。

問 通学路の防犯灯の整備面でのチェックと一般の防犯灯の維持管理の在り方の見直しと検討についての進捗状況は

答 通学路に対しては、現在PTA等を中心に危険箇所等の点検を実施していただいているので、その結果を待って通学路の防犯灯の新たな設置を検討していきます。又、一般防犯灯については、町内会にお願いし、各地区の設置状況を調査した上で、通学路の防犯灯を含め一般防犯灯の増設や、維持管理のあり方を総合的に検討していただくので今しばらく時間をいただきたいと思っております。



委員会報告

委員会で審議された中で、特に質疑の集中したものをピックアップしました。

総務経済

委員会

御前崎市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例制定について

問 今後進めていく上で、他のどのような条例に関係してくるのか

答 本条例が今議会において可決されれば、次回定例会において個々の施設の管理条例について、一括して文言の一部改正を行うこととしたい。

問 公の施設は何カ所位か

答 教育委員会関係、福祉関係を中心に市内に約60カ所を想定している。

問 公の施設の管理を所管する部局はどこか

答 福祉施設については、福祉担当課であり、社会教育施設に

については、教育委員会というところになる。

問 指定管理者制度を再度わかりやすく説明して欲しい

答 従来から地方自治法244条において、公の施設は、公的な団体や出資団体に管理委託することができるとなっていますが、今回の制度改正で、民間参入ができることとなった。

問 指定管理者制度とは、従来の直営を、民間で出来るものは民間に任せ、競争原理の中で安いところに委託するということであると理解しているが

答 国から地方へ、官から民への移行が制度の趣旨と考える。基本的には、民間委託してコストの削減を図っていききたい。

御前崎市一般会計歳入歳出補正予算(第3号)の内、総務部、事業部の所管に属する事項について

問 都市計画総務費に関連して、

まちづくり交付金事業について説明願いたい

答 計画策定委託料270万円は、まちづくり交付金事業の申請資料作成に係る委託料である。

問 国は、各省庁間の調整を行うことによって、中心市街地の整備を面的に行うこととしているが、助役を中心に、複数部局に亘っている事務事業の内部調整をお願いしたい

答 今後、財政状況が厳しくなる中で、計画的に道路整備を行うために、まちづくり交付金事業を導入したいと考えている。面的な整備が求められているので、出来る限りの調整はさせていたただく。

問 農林水産施設災害復旧費について、今回補正の朝比奈地区以外に残っている箇所があるか

答 本年8月25、26日の台風による災害について、農林水産課で把握しているものは、これ以

外にはない。

文教厚生

委員会

平成17年度御前崎市一般会計歳入歳出予算の補正(第3号)の内、市民部、教育委員会の所管に属する事項について

問 児童福祉総務費の臨時職員賃金272万5千円は、放課後児童クラブの指導員が増加したためか

答 北小学校区の独立と御前崎小学校区の実施を年度当初に見込んでいなかったことと、17年度の利用者の増加に伴い、臨時職員を増員した。

問 病院費中、病院事業会計補助金6億9千800万円について、今回は応急処置としても、今後の中長期的な見通しは

答 来年度についても、現在の

医師の数からすると同程度程度の赤字補填は考えられる。そのよくな中、医師の確保については全力を尽くし、少しでも赤字を減らすよう努力していく。中長期にみれば、新棟建設の当時、病院には40億円程度の減価償却として積み立てた基金があったが、これを病院東側の新棟建設のために19億円取り崩している。本来なら病院の基金であるため、これを返還していただきたい訳であるが、当時の状況の中で返されていないということであるので、併せてご理解願いたい。

問 病院費中、病院事業会計補助金6億9千800万円の財源内訳は

答 留保財源として持っていた繰越金と地方交付税を主体とした一般財源の中から充当する。

問 小中学校のパソコンリース料の減額は、OA機器をリースから買い取りに変更したことによるものと伺ったが、購入するのリースにするのかは、もっ

と早い段階で検討すべきでは

答 今後は、そのように対応していきたい。

平成17年度御前崎市病院事業会計予算の補正（第1号）について

問 高額機器の購入にあたって、次年度への繰延べは検討されなかったか

答 検討の結果、病院を経営していく中で、医師確保と患者の獲得のため、高速らせんCT装置は必要と考える。ナースコール装置の更新については、病棟の減少に伴い延期することとした。

問 腹部超音波診断装置を7月に購入しているが、使用頻度ほどの程度か

答 腹部超音波診断装置は、国の指針が変更されたことに伴い、急遽購入したものであるが、7月以降800人が使用している。

問 高速らせんCT装置は、1億6千万円と聞いているが、交渉次第でもっと安くならないものか

答 機種選定委員会の前に各メーカーを呼んで検討会をし、金額の交渉も度々行っている。

問 レクセル定位脳手術装置を購入する際、他の病院の購入価格等は調査したか

答 国内の同型機種を調査したが、定価に対する購入価格の比率は同じ程度で妥当と考えた。

問 初診料を上げるといふことは、病院が独自にできることか

答 特定診療は独自で決定することができ、中東遠地区の6病院はどこも一律1,050円である。

問 特定診療は、1カ月に何件あるか

答 1カ月1千件程度である。

議会の動き

10月

- 30日 議会たより編集委員会
- 1日 草笛の会30周年記念式典
- 3日 原子力対策特別委員会視察研修
- 5日 文教厚生委員会視察研修
- 6日 福井県高浜町議会議員視察来庁
- 7日 掛浜・御八ヶ浜現地踏査会

- 11日 全国原発立地市町村議会議長会役員会
- 12日 異業種交流事業講演会
- 13日 御前崎市グラウンドゴルフ大会
- 14日 農振地域整備計画管理調整委員会
- 17日 農産物協賛会
- 18日 農産物協賛会

- 19日 農産物協賛会
- 20日 農産物協賛会
- 21日 農産物協賛会
- 22日 農産物協賛会
- 23日 農産物協賛会
- 24日 農産物協賛会

- 25日 農産物協賛会
- 26日 農産物協賛会
- 27日 農産物協賛会
- 28日 農産物協賛会
- 29日 農産物協賛会
- 30日 農産物協賛会

- 31日 農産物協賛会
- 1日 農産物協賛会
- 2日 農産物協賛会
- 3日 農産物協賛会
- 4日 農産物協賛会
- 5日 農産物協賛会

- 6日 農産物協賛会
- 7日 農産物協賛会
- 8日 農産物協賛会
- 9日 農産物協賛会
- 10日 農産物協賛会
- 11日 農産物協賛会

- 12日 農産物協賛会
- 13日 農産物協賛会
- 14日 農産物協賛会
- 15日 農産物協賛会
- 16日 農産物協賛会
- 17日 農産物協賛会

- 18日 農産物協賛会
- 19日 農産物協賛会
- 20日 農産物協賛会
- 21日 農産物協賛会
- 22日 農産物協賛会
- 23日 農産物協賛会

- 24日 農産物協賛会
- 25日 農産物協賛会
- 26日 農産物協賛会
- 27日 農産物協賛会
- 28日 農産物協賛会
- 29日 農産物協賛会

- 7日 農産物協賛会
- 8日 農産物協賛会
- 9日 農産物協賛会
- 10日 農産物協賛会
- 11日 農産物協賛会
- 12日 農産物協賛会

- 13日 農産物協賛会
- 14日 農産物協賛会
- 15日 農産物協賛会
- 16日 農産物協賛会
- 17日 農産物協賛会
- 18日 農産物協賛会

- 19日 農産物協賛会
- 20日 農産物協賛会
- 21日 農産物協賛会
- 22日 農産物協賛会
- 23日 農産物協賛会
- 24日 農産物協賛会

- 25日 農産物協賛会
- 26日 農産物協賛会
- 27日 農産物協賛会
- 28日 農産物協賛会
- 29日 農産物協賛会
- 30日 農産物協賛会

- 31日 農産物協賛会
- 1日 農産物協賛会
- 2日 農産物協賛会
- 3日 農産物協賛会
- 4日 農産物協賛会
- 5日 農産物協賛会

- 6日 農産物協賛会
- 7日 農産物協賛会
- 8日 農産物協賛会
- 9日 農産物協賛会
- 10日 農産物協賛会
- 11日 農産物協賛会

- 12日 農産物協賛会
- 13日 農産物協賛会
- 14日 農産物協賛会
- 15日 農産物協賛会
- 16日 農産物協賛会
- 17日 農産物協賛会

- 18日 農産物協賛会
- 19日 農産物協賛会
- 20日 農産物協賛会
- 21日 農産物協賛会
- 22日 農産物協賛会
- 23日 農産物協賛会

- 24日 農産物協賛会
- 25日 農産物協賛会
- 26日 農産物協賛会
- 27日 農産物協賛会
- 28日 農産物協賛会
- 29日 農産物協賛会

- 30日 農産物協賛会
- 31日 農産物協賛会
- 1日 農産物協賛会
- 2日 農産物協賛会
- 3日 農産物協賛会
- 4日 農産物協賛会

総合開発計画 策定特別委員会

御前崎市総合計画策定に

関する最終提言書を!!

自立と市民協働

きらり輝く 御前崎

去る平成16年4月30日の第1回御前崎市議会において設置された総合開発計画策定特別委員会は、平成17年6月23日における市長への中間提言以降、平成17年10月31日まで、御前崎市の将来あるべき方向性、課題等、総合計画策定に関する調査研究を行ってきた。当委員会においては、旧2町の第3次総合計画、新市建設計画を踏まえた上で、御前崎市総合計画の策定に当たり、「健康・福祉」「教育全般」「環境」「安全」について、平成17年11月28日提言書を提出致しました。

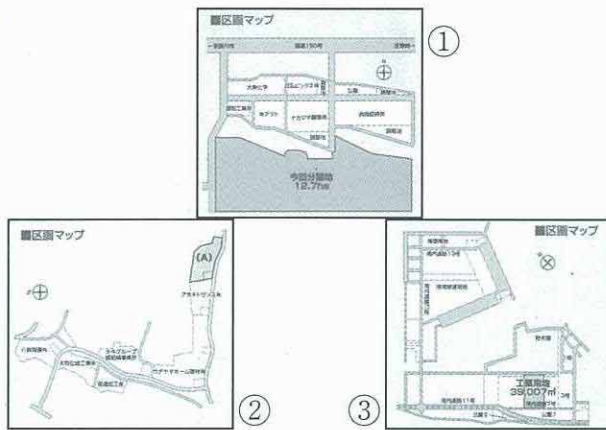
企業誘致に向けての現地視察

平成17年10月31日

視察地

- ① 池新田工業団地
- ② 白羽工業団地
- ③ 御前崎港工業団地
- ④ 北部地域工業団地

適地調査区域
比木地区・新野地区



原子力対策 特別委員会

プルサーマルについて経済産業省・資源エネルギー庁を訪問

●全国のプルサーマルを巡る

最近の動向・安全性について

野口大臣官房参事官
畑中原子力広報官

全国9電力会社・日本原子力発電(株)等の動向について国より説明を受けた。一番進んでいる九州電力・玄海3号機は国の原子炉設置変更許可は出ているが、地元の「事前了解」が得られていない。

四国電力は伊方3号で進んでいるが、九州電力より約半年遅れている。国としては、エネルギー基本計画並びに原子力政策大綱により当面プルサーマルを着実に推進する。

原子力対策 特別委員会

●プルサーマルの安全性について

青山原子力安全・保安院審議官
佐藤原子力発電安全審査課長
安全性の説明については設置変更許可が出ている玄海原子力3号機の例で説明を受けた。浜岡4号機については原子炉設置変更申請が提出されてから審査する。国策であるので、国は広報活動について前面に立って進めてもらいたいと要望をした。

福島県大熊町へプルサーマル計画・原子力発電に関連する調査研究

東京電力・福島第一原子力発電所は大熊町と双葉町にまたがって設置されている。平成10年に大熊町は日本で最初にプルサーマル計画の事前了解をした町であり、その当時の説明を受けた。

東京電力・福島第一原子力発電所は大熊町と双葉町にまたがって設置されている。平成10年に大熊町は日本で最初にプルサーマル計画の事前了解をした町であり、その当時の説明を受けた。

文教厚生委員会視察研修

(平成17年10月4日～5日)

視察先

愛知県高浜市長寿課
岐阜大学教育学部附属中学校

(1)高浜市「いきいき広場」

介護保険制度の対象とならない高齢者の自立した日常生活を支援するため、宅老所をはじめとする介護予防拠点施設が整備されており、65歳以上で見守りの必要がある方を一時的に預り、一緒に話や食事をして介護予防に役立てていきます。その他にも、外出の機会や、生きがいの場としての各種の施設があり、地域のボランティアが中心になり運営されています。



(2)岐阜大学教育学部附属中学校

校内ネットワークが充実し、サーバー機7台、コンピュータ室3室、パソコンが240台あり、各教室に1台、図書室に20台等校舎内どこでもコンピュータを利用することが可能になっています。ペーパーレス会議や電子学級日誌WEBを利用した、学校と家庭との連携など学校情報化の先進施設です。



総務経済委員会視察研修

(平成17年10月21日)

視察先

長野県飯田市(株)南信州観光公社
岐阜県各務原市テクノプラザ開発(株)

(1)株南信州観光公社

体験型観光による地域振興を目的に、平成8年飯田市商工観光課が中心となって設立されました。通過型観光を滞在型観光に変えたいとの願いから、5年間は市の事業として実施、平成13年に公社化し、現在は18市町村による広域連携事業となりました。

業務は、体験プログラム企画開発と、営業活動を主としています。

利用者は、農家民泊を含む農林業体験が全体の半数近くを占め、そのうち9割が中学校の修学旅行生です。



(2)テクノプラザ開発(株)

全国初のPFI準用型工業団地開発事業です。従来、土地開発公社が行っていた業務を民間業者が行うことにより、資金力、技術力の活用が可能となり、事業費全体の軽減と優良企業誘致が進められています。誘致成功報酬等の支払制度は企業に関する情報提供、交渉に当たる支援・助言に対する譲渡価格の1%程度を支払う制度があり、用地買収は市役所の管理職を2人1組として40人体制で全てを1年間で完了したとのことでした。



(平成17年11月7日～8日)

市内現地視察



(1)白羽海岸の災害現場



(2)松くい虫被害状況



(3)池新田地区炭焼き小屋



第6回 静岡州市町村対抗駅伝競走大会

(平成17年12月3日 静岡新聞社撮影)

御前崎市チームも健闘

第6回県市町村対抗駅伝が12月3日に静岡市を舞台に熱戦が繰り広げられました。当御前崎市もエントリーし、健闘いたしました。

- 市町村全体順位 57チーム中37位でした
- 市の部順位 26チーム中23位でした
- 敢闘賞 御前崎市・熱海市・磐田市磐田が受賞しました(昨年度よりタイム率が伸長した上位3チーム)

昨年より3分55秒タイムを縮めた本年度は、7月より週1回の練習、9月より週2回の練習計36回の厳しい練習を行い、各個人レベルアップにつなげた。当初目標は「敢闘賞を目指してみんなで頑張っていく」の目標を実現したので喜びも大きかった。

- 併催事業 駅伝エントリー選手のうち、駅伝大会に出なかった小学生選手の為に1500mタイムレースを実施した

御前崎市出場選手 横山 諒 白羽小学校6年

成績 1500mタイム 4分51秒99で市の部優勝(26人参加中)

編集後記

明けましておめでとうございます。
います。

12月定例会も終了し、新しい「まちづくり」の基本構想が決まりました。明るい輝く「まち」に一日も早くなり、情報を発信したいものです。

「議会だより」も、一人でも多くの人にわかりやすく、読みやすく、編集に努力しておりますので、今年もよろしくお祈りします。

(K・K)

編集委員会

委員	委員長	片	西	大	岩	増	若
副委員	長	島	瀨	澤	大	岩	若
委員	長	一	初	初	初	初	初
委員	長	孝	満	代	代	代	代
委員	長	孝	彦	彦	彦	彦	彦